

子宮頸管検体の採取方法（採取容器 A78）



子宮頸部の粘液除去

スワブ検体採取セットⅢ付属のドライスワブで子宮頸管とその周辺の過剰な粘液を十分拭き取ります。

注意 粘液を拭ったスワブは廃棄します。
子宮頸管検体を採取する前にスワブを
コバスPCRメディアに浸さないでください。



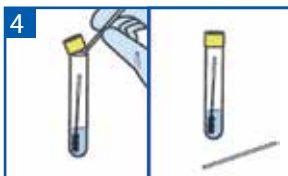
子宮頸管検体の採取

付属されているフロックスワブを子宮頸管内に挿入します。同じ方向にそっと5回スワブを回します。（回しすぎないでください。）スワブを引き抜く際は膣の粘膜に触れないように注意してください。



子宮頸管検体の保存

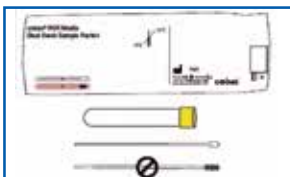
コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線の部分でスワブの柄を折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

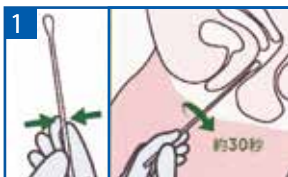
膣検体の採取方法（採取容器 A78）



使用するスワブ

スワブ検体採取セットⅢ付属のドライスワブのみを使用します。フロックスワブは使用しないでください。

注意 膣検体を採取する前にドライスワブを
コバスPCRメディアに浸さないでください。



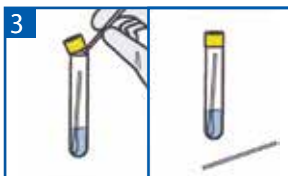
膣検体の採取

片手でドライスワブの黒い線の下側の柄を持ち、膣口から5cmほど挿入します。ドライスワブを膣壁にこすりつけるようにして時計回りに約30秒ほどゆっくりと回します。スワブを慎重に引き抜きます。コバスPCRメディアに保管するまでは先端部がどこにも触れないようにしてください。



膣検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、コバスPCRメディアの溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線の部分でスワブの柄を折ります。コバスPCRメディアのキャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。

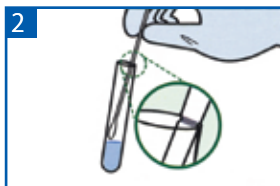
咽頭スワブ検体の採取方法（採取容器 A78）



検体の採取

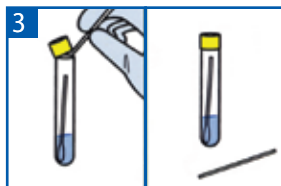
付属されているドライスワブを使用し、後咽頭部および扁桃腺、口蓋垂を擦過します。スワブを引き抜く際は口腔内に触れないように注意してください。

注意 咽頭スワブ検体を採取する前にドライスワブをコバスPCRメディアに浸さないでください。



検体の保存

コバスPCRメディアのキャップを開けます。採取したスワブの先端が、溶液に漬からないように注意しながら入れ、柄に付けられた黒い線を容器の縁に合わせます。



コバスPCRメディアの容器の縁を利用して、スワブの柄に付けられた線の部分でスワブの柄を折ります。キャップをしっかりと閉めます。

注意 手元に残った折れた柄は廃棄してください。スワブの柄を折る際は絶対にはさみを使用しないでください。